

…第2期見込評価と異なる箇所

中期計画の項目		NO	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価 素案	各年度評価 の状況	第1期 評価	第2期 見込 評価	第2期 病院機構 自己評価	第2期 県評価 (素案)	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などをお書きください）	
県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	1 医療の提供	(1) 政策医療の提供	県立中央病院	ア 救命救急医療	1	S	S	S	S	S:23→42% A:22→40% B:10→18% 計:55	S	A	S	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度救命救急センターの指定を受けた救命救急をはじめ、いずれの分野も第1期の実績を大きく上回る成果をあげており、示された目標を十二分に達成している。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策医療全般に中期計画を推進しており、「S」評価は順当である。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期の最終年度に難病医療、エイズ医療で目標を上回る業務実績があったと考えられる。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【救命救急医療】患者数、手術件数が多いのは良いのですが、実施された医療の質についても検討が必要と思います。この評価は、各診療科の基盤学会、あるいは国際学会での発表、IFがある論文への投稿、などの第3者によるpeer reviewのプロセスが必須で、県民に公表してアピールできます。 ・【難病】及び高度機器を使用した手術についても同様です。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合診療科等における診療の充実や県の精神科医療を担う基幹病院としての機能を発揮し、県民に信頼される医療の提供ができています。
			イ 総合周産期母子医療	2	A	S	S	S	S					
			ウ がん医療	3	S	S	S	S	S					
			エ 難病(特定疾病)医療	4	B	B	B	B	A					
			オ エイズ医療	5	B	B	B	B	A					
			カ 感染症医療	6	A	A	A	A	A					
		県立北病院	ア 精神科救急・急性期医療	7	S	S	S	S	S					
			イ 児童思春期精神科医療	8	A	S	S	S	S					
			ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療	9	A	A	A	A	A					
			エ 重度・慢性入院患者への医療	10	B	A	A	A	A					
			オ 重症通院患者への医療	11	B	A	A	A	A					
	(2) 質の高い医療の提供	① 医療従事者の育成、確保及び定着	12	S	S	S	S	S	S:15→60% A:5→20% B:5→20% 計:25	S	S	S	<p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卓越した技術、知識、実績を有する専門医を様々な部門に採用し、高度で質の高い医療を県民に提供するとともに若手の育成にも努力している。また、7対1の看護体制を安定的に維持できるよう取り組んでいる。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師確保に注力し、看護師数が2割弱増加した。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【医療従事者の育成】初期研修終了後の後期研修医対策、特に外科系専攻医師の不足に対する計画は喫緊の課題である。また、後期研修後の専門医の県内医療機関への定着プラン、基盤領域の専門医取得後の2階建て以上の専門医取得プランは、山梨大学と連携して立案する必要がある。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師確保に向けての取り組みは、離職率の低下に表れ、ひいては県民へのよりよい看護の提供につながっている。恵まれた状況を県内病院等のモデルとして発展させていただきたい。 	
		② 7対1看護体制への柔軟な対応	13	A	S	S	S	S						
		③ 医療の標準化と最適な医療の提供	14	S	S	S	S	S						
		④ 高度医療機器の計画的な更新・整備	15	S	A	A	A	A						
		⑤ 病院施設の適切な修理・改善	16	B	B	B	B	B						

○県の考え方

- ・救命救急医療やがん医療等について重点的に取り組んでいることに加え、政策医療全般にわたり、目標を上回る成果を出していると評価委員からも評価されていること。
- ・第2期各年度評価の状況は、総じて初年度から各項目の達成度が向上しており、最終年度である令和元年度は、全ての項目でS評価又はA評価であること。
- ・これらを総合的に勘案し、S評価とする。

...

…第2期見込評価と異なる箇所

中期計画の項目		NO	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価 素案	各年度評価 の状況	第1期 評価	第2期 見込 評価	第2期 病院機構 自己評価	第2期 県評価 (素案)	特記事項 (評価についてのお考え・ご意見などをお書きください)
1 医療の提供	(3) 県民に信頼される医療の提供	① 医療安全対策の推進	17	B	B	B	B	A	S: 1→ 3% A: 16→ 53% B: 12→ 40% C: 1→ 3% 計: 30	B	B	A	○委員 ・生じた事案を反省材料として真摯に受け止め、根本的な改善を図っており、改善方式による一定期間の運用実績をみても問題はないと判断できる。 ○委員 ・一時期の不祥事案を反省し、改善に努めたことで「A」評価は妥当である。 ○委員 ・平成29年度に輸血に関わる事故、薬剤に関わる事案が発生したことは残念であるが、その後の組織を挙げての再発防止への取り組みの進展を評価したい。 ○委員 ・【実施されている医療の質に関する県民への周知】県立病院で実施されている医療の質について評価を実施し、県民に周知するのが良いと考える。県立病院で担当した個々の症例を詳細に検討し、学術活動を通して第三者評価を行い、その結果を県民に公表し、安心して受診できる環境を整えるのが目的である。 ○委員 ・医療事故再発防止に取り組んだ様子がわかる。また、事故を未然に防ぐための人員の確保・適正配置、人材の育成等に努力している。
		② 医療倫理の確立	18	B	B	B	B	B					
		③ 患者・家族との信頼・協力関係の構築	19	B	A	A	A	A					
		④ 医薬品の安心、安全な提供	20	S	B	C	B	A					
		⑤ 患者サービスの向上	21	A	A	A	A	A					
		⑥ 診療情報の適切な管理	22	A	A	A	A	A					
2 医療に関する調査及び研究		23	S	S	S	S	S	S: 5→100%	S	S	S	S	○委員 ・新薬の治験に積極的に取り組み高い治療実績を収めた。病院機構が最先端の医療にも対応、提供できる高度な医療機関であることを広く認識させた。 ○委員 ・C型肝炎治療薬が良好な治療成績であった。 ○委員 ・消化器病関連以外の専門分野においても実施されるのが望ましい。 ○委員 ・調査研究等を着実に実施し、学会等へ発表したり、職員が気軽に学べる環境を整えている。
3 医療に関する技術者の研修	(1) 医療従事者の研修の充実	24	A	A	A	A	A	A: 5→100%	A	A	A	A	○委員 ・研修体制の充実など医師の専門性を高める取り組みを行っている。資格取得のための支援体制も充実している。 ○委員 ・学術活動の成果が減少しており、今後さらに病院を挙げて促進していただきたい。この活動が医療の質の向上に連結する。 ○委員 ・専門看護師・認定看護師等の資格取得促進により、着実に養成され、院内外で活躍している。
	(2) 県内の医療水準の向上	25	B	B	B	B	B	B: 5→100%	B	B	B	B	○委員 ・地域医療機関の職員の技術向上に向けた研修を実施するとともに、実習の受け入れを行うなど期待された役割を果たしている。 ○委員 ・特に、外科系専攻医の増加、新型コロナウイルス感染症対策、学術活動、医療従事者研修、などを通して、山梨大学との連携を強化し、医療水準の向上を協力して目指したい。 ○委員 ・医療の質向上に向けて研修会等の開催、実習生、研修生等を受け入れ県内の医療水準向上に寄与している。

○県の考え方
 ・期間中に輸血医療事故及び薬剤紛失事案の発生があったものの、その反省のもと、多角的な観点から再発防止策を実施するとともに、さらなる改善に継続して取り組んでいると評価委員からも評価されていること。
 ・第2期各年度評価の状況は、昨年の見込評価の段階では、A評価とB評価が同率（46%）であったところ、最終年度である令和元年度の評価を加えて、A評価の率がB評価の率を上回ったこと。
 ・これらを総合的に勘案し、A評価とする。

…第2期見込評価と異なる箇所

中期計画の項目		NO	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価 素案	各年度評価 の状況	第1期 評価	第2期 見込 評価	第2期 病院機構 自己評価	第2期 県評価 (素案)	特記事項 (評価についてのお考え・ご意見などをお書きください)
県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(1) 地域医療機関との協力体制の強化	26	S	S	S	S	S	S: 5→100%	A	S	S	S	○委員 ・地域医療支援病院として、病病連携・病診連携に努め、紹介率、逆紹介率は高い水準を維持している。 ○委員 ・地域医療支援病院として地域医療に貢献を評価。 ○委員 ・紹介率・逆紹介率の大幅な上昇など地域のかかりつけ医等との連携が進んだ。 ○委員 ・今後予想される新型コロナウイルス感染症の第2波に向けた対策を県内医療機関と連携して構築いただきたい。 ○委員 ・地域医療支援病院としての機能を果たし、必要な地域連携研修会の開催等、地域医療機関との連携強化が図られている。
	(2) 地域医療への支援	27	B	B	B	B	B	B: 5→100%	B	B	B	B	○委員 ・研修プログラムの充実、魅力ある指導医の存在などにより臨床研修医、専修医、更には専攻医の確保は順調である。公的病院の外来部門への更なる支援を期待する。 ○委員 ・さらに、どのようにしたら、県立病院の持てる力(ハード・ソフト両面)をもって地域支援ができるだろうか。「A」に向けての取り組みに期待する。
	(3) 地域社会への協力	28	A	A	A	A	A	A: 5→100%	B	A	A	A	○委員 ・救命救急士の育成、看護師養成機関への講師派遣など1期の実績を上回っている。 ○委員 ・看護職養成機関等への講師派遣等幾分の増減はあるが年々充実してきている。人材育成等を通しての社会協力(貢献)に期待する。
5 災害時における医療救護		29	A	A	A	A	A	A: 5→100%	A	A	A	A	○委員 ・大規模災害を想定した訓練を毎年実施するとともに、BCPも策定済みである。災害現場へDMAT隊、DPAT隊を派遣するなど経験値も有している。 ○委員 ・DMAT・DPAT等の医療活動には感謝する。 ○委員 ・近年、多発する災害に迅速に対応し、支援ができています。また、BCPの策定や訓練等を実施し、いざに備えている。
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	1 医療環境の変化に対応できる運営体制の構築	30	A	A	A	A	A	A: 5→100%	A	A	A	A	○委員 ・ゲノム解析センター、循環器病医療センターが設置されるなど新たな分野、医療ニーズに対応した運営がなされている。 ○委員 ・具体的に機能するセンター等の開設・設置等、組織改編に取り組み成果を上げてきている。又、「病院会議」「院内連絡会議」を開催し、情報交換・共有する中で適正運営に努めている。
	2 効率的な業務運営の実現	31	B	B	A	A	A	A: 3→60% B: 2→40%	B	A	A	A	○委員 ・委託業務適正化を図るだけでなく、情報システム保守、病棟クラークの内製化を行ったことは評価できる。 ○委員 ・様々な工夫と努力により、業務の効率化・経費削減等ができています。
	3 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減	32	S	S	S	S	S	S: 5→100%	A	S	S	S	○委員 ・診療報酬請求体制、未収金回収の体制は第1期より格段に強化された。 ○委員 ・汎用医療材料などの共同購入の取り組みが定着し、費用の削減が大いに進んだ。 ○委員 ・担当人員の増、適正配置による能力の発揮により、成果を上げている。
	4 事務部門の専門性の向上	33	A	A	A	A	A	A: 5→100%	A	A	A	A	○委員 ・プロパー職員の計画的採用と研修実施等による能力向上のための取り組みが行われている。 ○委員 ・事務部門プロパー職員による病院経営や病院事務などに関する多くの外部研修参加、先進事例を有する他病院視察などが行われた。 ○委員 ・事務職員を計画的に採用し、研修等に参加させ専門性を高めている。

...

…第2期見込評価と異なる箇所

中期計画の項目		NO	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価 素案	各年度評価 の状況	第1期 評価	第2期 見込 評価	第2期 病院機構 自己評価	第2期 県評価 (素案)	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などをお書きください）
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置	5 職員の経営参画意識の向上	34	A	A	A	A	A	A: 5→100%	A	A	A	A	○委員 ・経営の実態、問題点、今後の方向性について共有化を図る努力がなされている。 ○委員 ・職員からの提案数の増減はあるが、着実に参加意識は高まっている。提案事項を実施していることが効を奏している。
	6 職場環境の整備	35	A	A	A	A	A	A: 5→100%	B	A	A	A	○委員 ・病児・病後児保育室の設置、夏季休暇取得期間の拡大、人事評価制度の導入など新しい取り組みを始めた点は評価できる。また看護職員の離職率や職員満足度調査結果を見ても環境整備に配慮していることが伺える。 ○委員 ・院内託児所の利用が大幅に増えるとともに、新たに病児・病後児保育室が設置されるなど、職場環境の整備が進んだ。 ○委員 ・職員満足度調査、看護職員満足度調査を実施し、対応している。働きやすい環境が整備されてきている。健康で安心して仕事・生活ができる環境の維持を望む。
財務内容の改善に関する事項 (予算、収支計画及び資金計画、短期借入金の限度額)		36	S	S	S	S	S	S: 5→100%	S	S	S	S	○委員 ・安定的に黒字を出しており、中期計画期間における目標値を大きく上回る利益を計上しており期待以上の成果と評価する。 ○委員 ・純利益が計画の2.2倍となるなど、大幅な増益となった。 ○委員 ・運営費負担金の具体的な内容について県民に周知いただきたい。 ○委員 ・適正に取り組まれている。
その他業務運営に関する重要事項	1 保健医療行政への協力	37	S	S	S	S	S	S: 5→33% B: 10→67% 計: 15	B	B	B	B	○委員 ・今計画期間中に、不適切事案があったことは事実であるが、真摯な反省に基づく改善策を構築し既に運用している。次期計画期間中には評価ランクがあがることを期待している。 ○委員 ・定量的に表せないものの評価は難しい。 ○委員 ・病院で積極的に実施されている医療を件数のみで評価するのではなく、医療の質についても県民に周知いただきたい。 ○委員 ・法令を遵守し、適正に取り組まれている。
	2 法令・社会規範の遵守	38	B	B	B	B	B						
	3 積極的な情報公開	39	B	B	B	B	B						
	4 業務運営並びに財務及び会計に関する規則で定める事項	40	A	A	A	A	A						

S	12	13	13	13	13
A	15	16	17	17	21
B	13	11	9	10	6
C	0	0	1	0	0
D	0	0	0	0	0

4	5	6	6
7	9	9	9
7	4	3	3
0	0	0	0
0	0	0	0